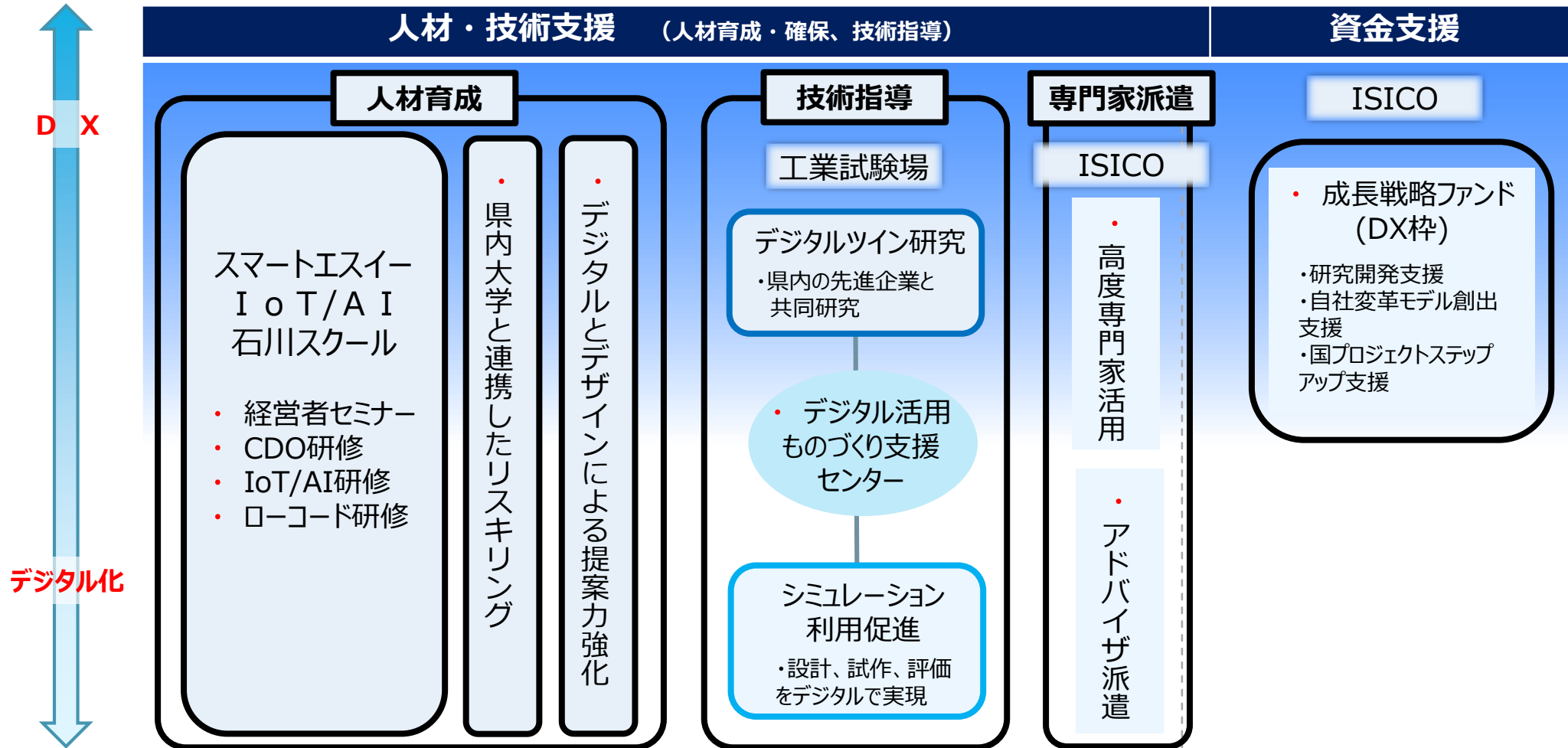


# 産業界のDXの推進

## 産業界の迅速なデジタル化に向け、ソフト・ハード両面で強力に支援

- 人手不足や原油原材料高の足下の課題に対応するため、生産性向上や省力化につながる「デジタル化」を後押しするとともに、競争力の向上や将来の成長に向けて、デジタル技術の活用により新たなビジネスモデルを創出するDXに向けた支援を強化
- 従前より積極的に取り組んできた人材・技術面での支援をDXに対応するため高度化するとともに、さらに充実強化
- 資金面は国の補助金の獲得をサポートするとともに、先進的且つモデル性の高い取組（開発、設備）を支援



- IoT・AIの高度技術人材養成研修である、**早稲田大学を代表校とする「スマートエスイーIoT/AI石川スクール」**を、R6年度も本県で引き続き開講。
- これまでの技術者向け研修に加えて、昨年度より、コードを最小限に抑えたノーコード／ローコード研修と、自社のDXを牽引する人材を育成するCDO（最高デジタル責任者）育成研修も実施。

## 経営者セミナー・技術者研修

<対象者>：ものづくり企業の生産技術・製品開発関係者等

- 経営者セミナー：IoT・AIの有効な活用方法や先進事例等について学ぶ（5/20）
- 技術者研修 ※一括参加申込締切：7/31（コース毎の申込は8/1からを予定）
  - プログラミング実践コース：企業の技術者にプログラミングを習得してもらう（1.5日、9月予定）
  - IoT中心コース：IoTを活用して自社の製造現場の現場改善してもらう（3日、10月予定）
  - AI中心コース：AIを活用した付加価値の高い製品を開発してもらう（3.5日、11月予定）

## ノーコード／ローコード研修

<対象者>：プログラミングに触れた経験が少ない初級者等

- 集合研修 ※申込締切：6/18  
コード記述を極力なくしたノーコード／ローコードツールを用いて業務改善を検討する（全10日、6月～12月予定）
- 成果報告会：代表企業による事例発表をおこなう（12月予定）

## CDO育成研修

<対象者>：企業の中でデジタル化を推進する経営層

- 本研修 ※申込締切：6/25  
デジタル技術を活用した経営戦略の立案に必要な視点、考え方等を学ぶ（全10日、7月～11月予定）

- 多くの県内企業が、デジタル化（生産性向上等）へ対応しなければならない中、企業の状況に応じた取り組みを支える人材育成が重要。
- 一方、経営者は、長期間の従業員の拘束が課題と感じているため、低廉で短期間に特定のスキルを学ぶことができるカリキュラムを求めている。
- そこで、県内企業がデジタル技術を活用し競争力を維持・向上させるため、県内大学において企業が必要とするスキルを短期間で学ぶことができる講座の開設に向け、県内企業のニーズや大学のシーズの調査、トライアルの実施、プラットフォームの構築等を行う。

## 令和6年度

### ①県内大学での講座構築

- ・企業のニーズに対するカリキュラムを構築、本格運用
- ・既存カリキュラムで対応できないものは、新たなカリキュラムを作成（大学で新規作成、民間の活用）

### ②トライアル講座

- ・令和5年度に実施できなかった、トライアル講座（2テーマ）を実施する

### ③周知・広報

- ・ポータルサイト等を通じて、大学等の講座を分かりやすく示す

VRやARなどのデジタル技術を活用した顧客との対話を通じ、顧客に訴求するデザインによる製品・サービスの提案を実現するため、先進企業などによる提案力強化ワークショップ等を実施。

### 全体概要

実施回数：全5回程度

対象事業者：県内のサービス関連事業者、小売事業者、繊維・食品・機械、BtoC企業など

参加者数：10社20名程度

参加費：無料

### ワークショップ

- ✓ 提案力強化のための事例学習やセミナーの開催  
…顧客に訴求するための考え方やノウハウ、事例などについて学ぶ。
  - ✓ デジタルやデザインを活用した製品・サービスに関わったクリエイターなどによるワークショップの開催  
…デジタルに加え、デザインを活用した実績のある企業等から講師を招聘、先進事例や取組みを学ぶ。
- ⇒異業種で集まり意見交換を行うとともに、デジタル技術とデザインの視点を活用して自社の製品やサービスを訴求するアイデアを出し、プロトタイプを制作する。

### 施設訪問

- ✓ 先進技術を体感し、参加者で意見交換を行うことで、自社での導入・新たなビジネス創出のイメージを持つ  
訪問施設例：県工業試験場やデザインセンター、最先端の技術にかかる研究関連施設  
※訪問にかかる交通費等は実費。

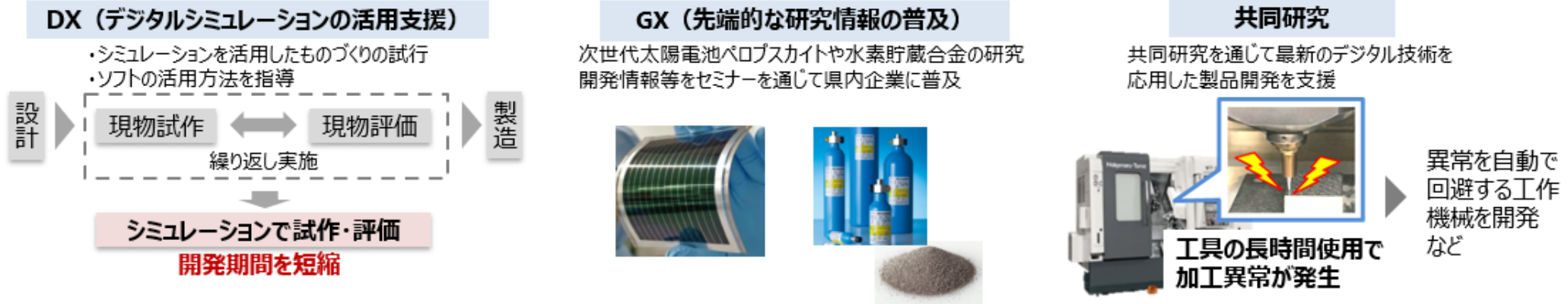
県内ものづくり企業は以下の課題に高い関心とニーズ

**課題 1** デジタル・シミュレーションの導入による迅速・効率的なものづくり

**課題 2** ロボットの導入による人手不足、生産性向上への対応

**課題 3** 新たな成長市場「GX」への参入

『デジタル活用ものづくり支援センター』（工業試験場内）を拠点に  
体験セミナー等を実施し、県内企業の人材育成・普及啓発を推進



「DX」、「GX」、「共同研究」をセットで支援する公設試験機関の取り組みは全国トップレベル

- ・石川県では、令和4年12月に、工業試験場にNTTドコモによる最新のSA方式5G基地局を設置、県内企業への5G実証環境の提供を行っている。
- ・さらに、将来の5Gの本格運用に向け、県内企業のニーズとドコモの技術・情報を工業試験場が仲介し、いち早く5Gを活用した新製品開発等につなげられるよう、5G活用推進の拠点として工業試験場内に開設。

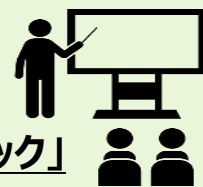
## 「5G活用紹介・相談ルーム」(令和4年12月開設)

NTTドコモと連携し、工業試験場を核とした、県内企業の5G活用推進を支援

### ルームでの支援内容

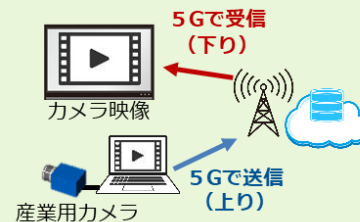
#### 最新情報の提供

- ・5Gの最新情報に関するセミナー開催
- ・導入検討に役立つ情報を纏めた「**5G導入ガイドブック**」(令和5年3月発行)の配布 など



#### デモの展示

- ・5Gによる**高品質かつ高速な映像伝送を体感**できるデモを展示



#### 相談体制の構築

- ・5Gに関する企業からの相談に対し、**NTTドコモと連携し**技術指導を行う



5G活用紹介・相談ルーム

近年、GXやDX、原油・原材料価格の高騰への対応など県内企業が抱える経営課題が高度化・複雑化していることを踏まえ、**より高いスキルや豊富な知見を有する「高度アドバイザー」の活用に対し補助金を交付**することで、ニッチトップや海外展開を目指すなど、**本県産業を牽引する企業の更なる成長促進および競争力強化を図る。**

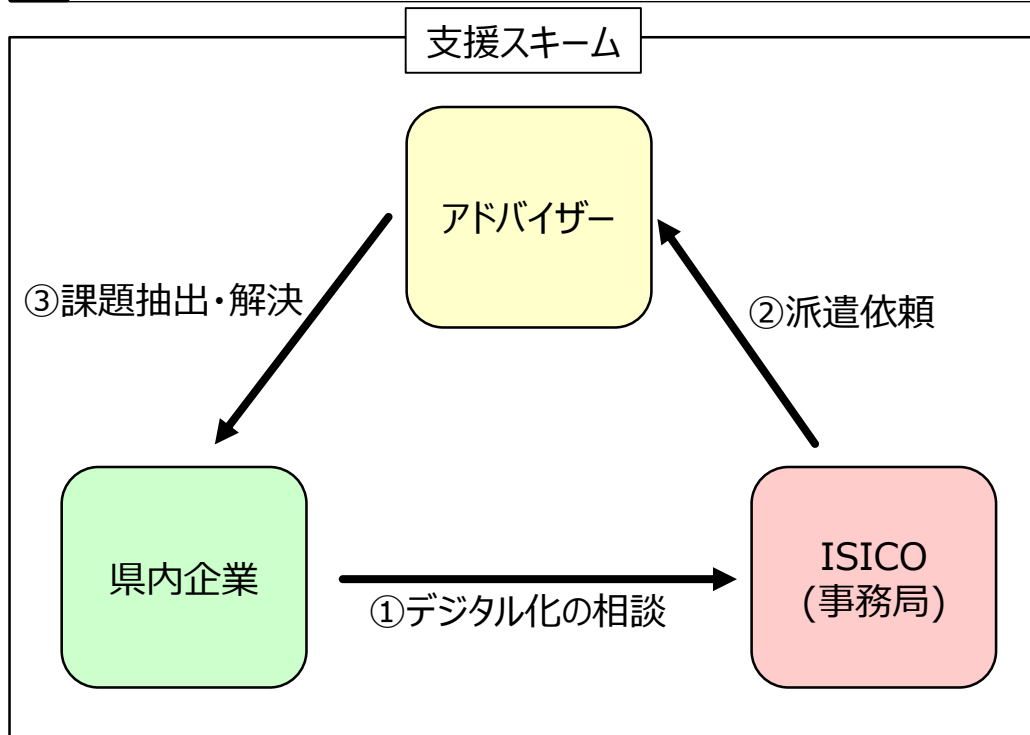
<制度詳細>

対象企業	専門家	補助上限	補助率
<p>県産業を牽引すると認められる、石川県内に本社又は主たる事業所を有する企業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ニッチトップや海外展開を目指す企業</li> <li>国内外で先進的な事業を展開する中小企業 もしくは中堅企業</li> <li>スタートアップ企業</li> </ul>	<p>都市部を中心とした土業・グローバル企業の経験人材等</p> <p>※専門家を経験単位とすることも可</p>	<p>1,500千円/社</p> <p>※ 想定謝金3,000千円 (30万円×10回)</p> <p>※ 既存アドバイザー謝金 3万円/回</p>	<p>1/2</p>

- デジタル化が進展する中、デジタル化の設備導入を進め経営面も含めた変革を行うことを支援し、企業の競争力を高めることが目的。
- 社内のデジタル化に向けて、課題抽出から目標設定、解決策の提案、計画策定、実行支援など、きめ細かく支援。

支援内容

- ・社内の課題を抽出・整理し、それを解決するための解決策を提案（デジタル投資の場合、ツールの紹介含む）
- ・支援回数：3回程度、1回あたりおおむね半日程度  
 <支援イメージ> 1回目：課題抽出  
 2回目：課題の整理と目標設定  
 3回目：解決策の提案
- ・対象業種：業種による要件なし（みなし大企業：対象外）



デジタル化に関してアドバイザーが対応する内容（例）	
テレワーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークを行いたい（クラウド利用等）</li> <li>・テレワークに伴いNW環境や、セキュリティを強化したい</li> </ul>
生産現場効率化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工場内をIoT化して生産性を向上させたい</li> <li>・工場内の稼働状況を把握したい</li> <li>・ロボット等を導入して省人化を図りたい</li> </ul>
事務部門の効率化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務部門の効率化を図りたい（クラウド利用等）</li> <li>・RPAを導入したい</li> <li>・各種システム（販売管理システム等）の連携を図りたい</li> </ul>



- ・いしかわ次世代産業創造ファンドといしかわ中小企業チャレンジ支援ファンドを統合・リニューアルし、合計700億円の「成長戦略ファンド」を創設
- ・複数年にわたる新たな研究、商品開発から事業化、販路開拓まで全業種にわたり支援
- ・あわせて、産学官金連携による「いしかわ新事業創出支援コンソーシアム」を立ち上げ、案件の掘り起こしから、採択後のフォローアップまでの一貫した支援を行う

## ～R4年度

## 次世代ファンド

基金規模：300億円

- ・産学連携による研究開発支援
- ・炭素繊維など新たな素材の実用化

## チャレンジ支援ファンド

基金規模：400億円

- ・商品開発・販路開拓支援
- ・支援の9割が商品化

統合・  
リニューアル

## R5年度～

## 成長戦略ファンド（基金規模：700億円）

## ① 6つのメニューに再編

新

DX推進

新

GX推進

新

スタートアップ創出支援

新

国プロジェクト採択への  
準備支援

新

地域資源活用支援

社会課題解決支援

## ② 案件発掘とフォローアップの支援体制を構築

いしかわ新事業創出支援コンソーシアム

# 石川県で働く外国人と企業のための日本語教育支援事業

(公財) 石川県国際交流協会では、  
技能実習生など外国人を雇用している県内企業様向けに  
「日本語学習クラス」を提供します

- 社内のコミュニケーションを活発にするための  
基礎的な日本語教育が対象  
(資格試験対策、生活指導等はいりません)
- 企業合同や組合などの団体単位のお申し込みもOK
- 実施スケジュールは企業様のニーズに合わせて調整

外国人従業員の日本語教育にご関心のある企業様は

次ページをご確認いただき、ぜひお申し込み下さい

# 石川県で働く外国人と企業のための日本語教育支援事業

- 対 象 : 外国人を雇用している県内企業（企業合同や組合などの団体単位もOK）  
募 集 数 : 5社程度  
授業方法 : オンライン(最大10人程度)又は対面(最大15人程度)  
授業内容 : 1回90分、5回～最大10回まで  
受講期間 : 概ね10月以降を予定（応相談）  
企業負担 : ■受講料 1回3,000円（夜間・休日の場合3,450円）  
※ 授業の回数は5回以上から最大10回まで申込可  
※ 対面の場合は受講料+講師の交通費  
※ 17:00以降は夜間受講料となります  
■対面授業の場合、準備いただきたいもの（難しい場合応相談）  
・机と椅子が設置された授業に適した環境の部屋  
・Wifi環境  
・ホワイトボード、プロジェクター

募集締切 8月8日（木）

お問合せ先

（公財）石川県国際交流協会

にほんご課 [ オンライン日本語教室 ] 担当

TEL: 076-222-5931 EMAIL: ifieonline@ifie.or.jp

お申込みは二次元  
バーコードまたは  
URLから▶▶



<https://forms.gle/5oMRmidKvfBtYAg18>